

## IBM X-Force Exchange Commercial API

ご利用条件 (以下「ToU」といいます。) は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オファリング条件」 (以下「SaaS 特定オファリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」 (以下「一般条件」といいます。) で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オファリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オファリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オファリングのご契約条件」のうち該当する契約条件 (以下「本契約」といいます。) が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

### 1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オファリングに、これらの「SaaS 特定オファリング条件」が適用されます。

- IBM X-Force Exchange Commercial API

### 2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「アイテム」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「アイテム」とは、「IBM SaaS」が処理、管理する、または「IBM SaaS」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。お客様の「PoE」または「取引文書」に規定されている課金期間中、「IBM SaaS」が処理、管理する、または「IBM SaaS」の利用に関連する各「アイテム」をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

### 3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

#### 3.1 超過料金

課金期間中のお客様の「IBM SaaS」の実際の利用が、「PoE」に記載される使用許諾範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の規定に従い、その超過分について請求されます。

### 4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

### 5. テクニカル・サポート

サブスクリプション期間中および IBM が「IBM SaaS」へのアクセスが利用可能になった旨をお客様に通知した後、テクニカル・サポートがオンライン・フォーラムおよびオンライン・チケット・システムまたはチャット・セッションを介して提供されます。「IBM SaaS」内から、お客様はサポート・チケットを送信したり、支援用チャット・セッションをオープンしたりできます。IBM は、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。

フォーラム・サポートは、IBM サポート担当者および開発者が定期的にモニターします。

a. 質問をする: <https://developer.ibm.com/answers/questions/ask/?topics=xforce-exchange-api>

b. 現在の投稿を表示する: <https://developer.ibm.com/answers/topics/xforce-exchange-api/>

サポートの手順について詳しくは、IBM サポート Web ポータル (<https://support.ibmcloud.com>) をご覧ください。

重要度	重要度の定義	サポート時間内の目標応答時間
1	<b>重大な事業影響/サービス・ダウン</b> 事業上の重要な機能が作動不能である、または重要なインターフェースが機能しない状態。これは通常実稼働環境に適用され、サービスにアクセスできないことによって業務に重大な影響が生じることを示します。この状況は、即時に解決する必要があります。	IBM Software as a Service Support Handbook を参照
2	<b>著しい事業影響</b> 利用中にサービスのフィーチャーまたは機能が著しく制限されているか、お客様が事業の最終期限に間に合わない危険にさらされている状態。	IBM Software as a Service Support Handbook を参照
3	<b>軽度の事業影響</b> サービスまたは機能を使用することができ、業務に重大な影響が表れていないことを示す。	IBM Software as a Service Support Handbook を参照
4	<b>最小の事業影響</b> 問い合わせまたは非技術的な依頼。	IBM Software as a Service Support Handbook を参照

## 6. 「IBM SaaS」 オファリングの追加条件

### 6.1 Cookie

お客様は、IBM が「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の利用に関連してお客様(お客様の従業員および従契約者)から個人情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBM によるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM、その他の IBM グループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域において、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を以上の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

### 6.2 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する場所の税金が適用されます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

### 6.3 コンテンツの追加的条件

#### 6.3.1 定義

「IBM SaaS」には、「IBM コンテンツ」および「コミュニティー・コンテンツ」の使用ならびに各コンテンツへのアクセスが含まれます。以下の定義が適用されます。

a. 「コンテンツ」 - 「IBM SaaS」を介してアクセス可能なあらゆる情報、データ、ファイル、テキスト、グラフィックス、ソフトウェア、コード、メッセージ、検索照会からの出力、検索照会への入力、ディスカッション・フォーラム・コンテンツ、手法またはその他の素材を意味します。

- b. 「IBM コンテンツ」 – 「IBM SaaS」により IBM からお客様に提供された「コンテンツ」をいいます。ただし、「コミュニティー・コンテンツ」は除きます。
- c. 「コミュニティー・コンテンツ」 – ほかの「IBM SaaS」ユーザーから「IBM SaaS」を介してお客様に提供された「コンテンツ」をいいます。

### 6.3.2 IBM コンテンツ

「IBM コンテンツ」は IBM が所有するもの、またはライセンスによって IBM に提供されたもの、またはその他の理由により IBM が使用できるものをさします。IBM、そのライセンサーまたはサプライヤーは、「IBM コンテンツ」のすべての権利、権原、および権益を保持します。「IBM コンテンツ」の著作権は、米国またはその他の国の著作権法に基づき、IBM、IBM のライセンサーまたは IBM のサプライヤーに帰属し、また、所有権および知的財産権にかかわる法律の適用を受けます。

本「ToU」を条件に、IBM はお客様に、以下のいずれかのために「IBM コンテンツ」にアクセスする非独占的で譲渡不可能な制限付きライセンスを付与します。(i) お客様の調査および脅威調査をサポートするためのお客様による個人使用のため、または (ii) 「IBM コンテンツ」をお客様の製品に統合するため。お客様は、「IBM コンテンツ」に含まれる、または「IBM コンテンツ」に添付されるすべての著作権表示、情報、および制限に従うものとし、「IBM コンテンツ」に含まれるテキスト、著作権、またはその他の財産権表示を削除しないものとします。

お客様が「IBM コンテンツ」をお客様の製品に取り込む場合、お客様は、エンド・ユーザー契約の作成および遂行に対して責任を負います。当該契約は、契約によってエンド・ユーザーに拘束力を持つものでなければなりません。さらに、当該契約は以下を実行するものでなければなりません。(a) 債務を相当額に制限する、(b) 第三者サプライヤーが、結果的損害およびその他の間接的損害ならびに黙示の保証(商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任の保証を含みます。)に対するあらゆる債務を放棄していることを明確に示す、(c) お客様およびその第三者サプライヤーの連帯責任にはエンド・ユーザー契約における責任の制限が適用されることを言明する、(d) お客様のエンド・ユーザーがエンド・ユーザー契約に起因するすべての請求または損害に対して利用できる救済手段はいずれもお客様に対してのみであり、第三者サプライヤーに対するものではないという記述を含む、(e) お客様の製品またはサービスとは別の「コンテンツ」をエンド・ユーザーが使用するのを許可しない、および (f) お客様のエンド・ユーザーが「コンテンツ」を再使用許諾したり、その他の手段での再配布を許諾するものではない。

さらに、お客様が「IBM コンテンツ」をお客様の製品に取り込んだ場合、お客様が適用法または「本契約」の条件に基づいて負うべき損害に加えて、お客様は以下に起因するすべての第三者の請求に対して、および当該請求に関して、IBM を保護し、補償し、免責します。(a) 前文の条件の不遵守、または (b) IBM が権限を付与していない「IBM コンテンツ」に関する表明、記述、請求または保証。

疑義を避けるために付言しますが、お客様には、「IBM SaaS」を自社の製品やサービスに統合する権限はありません。

上記に明示的に規定されている場合を除き、お客様は「IBM コンテンツ」のコピー、変更、複製、送信、販売、販売のための提供、貸与、リース、ライセンス付与、再使用許諾、再配布、またはその他の方法による第三者への提供を行わないものとします。

「IBM コンテンツ」は、IBM が信頼する情報源から取得した情報に基づき現状で提供するものであり、その精度、正確性、整合性、完全性もしくは適時性を一切表明または保証するものではありません。お客様は、IBM が第三者から IBM に提供された情報の正確性の監査や検証を行わないことに同意するものとします。

### 6.3.3 コミュニティー・コンテンツ

お客様は、「コミュニティー・コンテンツ」へのアクセスを含め、「IBM SaaS」のほかのユーザーとお客様とのやりとりに対して責任を負います。パブリック・コレクションで共有される「コンテンツ」について、お客様には、かかる「コンテンツ」またはその一部を使用、コピー、複製、修正する、およびかかる「コンテンツ」の二次的著作物を作成する、およびかかる「コンテンツ」を配布するための追加の権利を取得し、その付与された権利に合致するよう当該二次的著作物を使用するための、全世界における非独占的で支払い済みの権利およびライセンスが付与されます。お客様が上記のライセンスの許諾に従って「コミュニティー・コンテンツ」をコピー、複製、配布またはその他の方法で利用可能にする

場合、お客様は「コミュニティー・コンテンツ」について属性を提供しなければなりません。お客様は、お客様の内部の非営利目的でのみ、グループ・コレクションにおいて利用可能な「コンテンツ」を使用できます。お客様は、IBM のポリシー、本「ToU」に違反する、またはそれ以外の違反的なものに該当する「コミュニティー・コンテンツ」にさらされる場合があります。お客様はお客様自身の責任で「コミュニティー・コンテンツ」にアクセスします、また、お客様は「コミュニティー・コンテンツ」が「現状」のまま提供されていることに同意します。IBM は「コミュニティー・コンテンツ」の完全性、それが真実であること、その正確性、または信頼性を是認、サポート、表明、保証しません。いかなる場合も IBM は「コミュニティー・コンテンツ」に対して義務を負いません。これには、「コミュニティー・コンテンツ」の誤りや不作為、または「コミュニティー・コンテンツ」を使用した結果として被るあらゆる種類の損失や損害が含まれますが、これらに限られません。

「コミュニティー・コンテンツ」には、その他の「IBM SaaS」ユーザーのユーザー・プロフィール情報が含まれる場合があります。お客様は、その他の「IBM SaaS」ユーザーに脅威に関するインテリジェンス情報を伝達する以外の目的でプロフィール情報のデータ・マイニング、コピーまたはそれ以外の方法での使用をすることはできません。

「コミュニティー・コンテンツ」には、IBM が運用していない Web サイトへのリンクが含まれる場合があります。IBM は当該 Web サイトのコンテンツ、製品、素材、または実践 (プライバシーの実践を含みます。) に対して責任を負いません。お客様は、「コミュニティー・コンテンツ」へアクセスすることにより、お客様が違反に該当する Web サイト、わいせつな Web サイト、またはその他好ましくない Web サイトと感じる第三者の Web サイトにさらされる場合があることを理解します。IBM は、「コミュニティー・コンテンツ」からのハイパーリンクなどによりアクセス可能な第三者の Web サイトの品質、コンテンツ、性質または信頼性について、保証、表明、是認あるいは担保を一切行いません。

## 別紙 A

### 1. IBM SaaS の概要

IBM X-Force Exchange Commercial API は、JavaScript Object Notation (JSON) において情報を戻す RESTful API を通じて、IBM X-Force Exchange へのプログラマチック・アクセスを提供します。「IBM SaaS」は、Structured Threat Information eXpression (STIX) 標準および Trusted Automated eXchange of Indicator Information (TAXII) 標準もサポートします。「IBM SaaS」は、ユーザーを支援する以下の主な機能を提供するように設計されています。

- 非構造化コンテンツおよび構造化コンテンツの両方で構成される、「コレクション」として知られる固有のセキュリティー調査に関する情報にアクセスする。
- マルウェア、データ侵害、または脆弱性といったインシデント・タイプの説明、およびその特定のインシデントに関連する、関係性のある観察可能なものに関する説明にアクセスする。
- ほとんどの場合にさらなる調査の開始点、および当該指標を理解するための背景となる、脅威の指標にわたって最新の総合的なインテリジェンスを入手する。
- お客様の製品と「コンテンツ」を統合して、脅威に関するインテリジェンス情報を活用する。

本「IBM SaaS」は、IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」

(<https://www.ibm.com/cloud/resourcecenter/content/80> で入手可能) および本項で規定される追加条件に従うものとします。IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」が変更されることがあっても、それにより「IBM SaaS」のセキュリティーのレベルが低下することはありません。

### 2. 個人情報および規制コンテンツ

「IBM SaaS」により、お客様は、適用可能なプライバシー法の下で個人情報とみなされる可能性のある情報を含んだコレクションの中のコンテンツにアクセスすることができます。

- 脅威に関するインテリジェンス・コンテンツを報告またはインテリジェンス・コンテンツに寄与する個人の名前
- 連絡先情報 (例: 住所、電話番号や携帯電話番号、電子メール)
- 従業員情報 (例: 学歴、職歴、勤務地)

本「IBM SaaS」は、個人情報またはセンシティブ個人情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティー要件に即して設計されているものではありません。お客様は、お客様が「IBM SaaS」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「IBM SaaS」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。